

名古屋市長 河村たかし様

2021年4月9日
日本共産党名古屋市議員団
団長 田口一登

新型コロナ感染「第4波」を封じ込めるための緊急要請

—無症状感染者の早期発見・保護に最大の知恵と力を集中することを求める—

感染対策に日夜大変奮闘されている、市職員の皆さまに感謝と敬意を表します。

愛知県の緊急事態宣言が3月7日に解除され、1か月が経過しましたが、コロナ感染は収まることなく、感染者は増加しています。また、従来型の新型コロナウイルスよりも感染力が強いとされる変異したウイルス（変異株）が、3月22日以降愛知県内でも広がっており、第4波の爆発的な感染拡大を危惧する専門家もいます。感染の新しい兆候をつかむためPCR検査とともにゲノム解析が重要となっています。

これまでのように、陽性者に対する積極的疫学調査にとどまらず、高齢者施設等に対する社会的検査とともに、感染拡大の予兆や感染源を早期に探知し、無症状感染者の早期発見・保護をするため戦略的なPCR等検査を行うなど、第4波を封じ込めるため、ありとあらゆる手立てを早急にとることが必要です。

よって、下記の諸点をただちに実施することを強く求めます。

記

1. 一斉かつ定期的なPCR等検査の対象、頻度、期間を思いきって拡大すること
 - ① 高齢者・障害者施設に加え医療機関、保育所等児童施設の従業員、施設利用者を対象に加えること
 - ② 新規感染者の発生が続く間、隔週～毎週実施すること
2. 医師の診断にもとづく検査とは別に、名古屋市全域を対象に1日1000人規模のモニタリング検査を実施すること
3. 変異株ウイルス検査を陽性者の10～30%（予算審議の答弁）にとどめず全量対象とすること。また、新たな変異株を発見するため、大学の研究機関などとも協力しゲノム解析できる体制を拡充すること。感染状況について正確な情報公表を行うこと
4. 高齢、障害者施設等が安心して定期的な検査に応じることができるよう、感染者が発生した場合、事業継続に支障をきたさないための事業所への人的支援の仕組みを強化すること

以上